



花に隠れてチョウを捕らえたハナカマキリ。花に似て敵から隠れ、獲物には花と思わせるなんてすごい。(マレーシア)

海野和男



木の幹そっくりの模様をもったキノハダキリギリス。羽をびたりと幹につけて影を消せば、効果は倍増。(マレーシア)

海野和男

虫たちの見事なカムフラージュ

海野和男 (昆虫写真家)

虫は、鳥などの敵が多いから、できるだけ見つからないようにという工夫をする。葉の裏など見えない場所に身を潜めるというのは当たり前で、ついには姿を植物に似せてしまう虫も現れた。植物にそっくりな虫たちを見ていると、どうしてここまで似ることができたのか、どうしてここまで似なければいけないのかなど、次々と疑問が湧いてくる。

ハナカマキリは、姿を花に似せて虫を誘う。自分が花にとまっていなくても、虫が花と間違えてやってくる。おいしい蜜がある花のレストランに立ち寄ったつもりが、中から手が出てきてつかまってしまったというのはちょっと怖い。こんなにうまく擬態したハナカマキリは、大繁栄するかと思えばそうではない。薬に餌をとれるから、怠け者になってしまったのだ。それで活動範囲も狭まったりする。気に入った場所があれば、そこからほとんど動かない。

そんな虫たちの生きる知恵を探して、世界中を旅するのは楽しい。自然の中に身を置いて、擬態する虫たちを眺めていると、人間も虫もそんなには考えることは違わないのだなと思ったりする。